

慢性硬膜下血腫患者さんの

診療情報を研究に利用することについてのお知らせ

九州医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究にカルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]慢性硬膜下血腫の動向調査

[当院の研究責任者] 脳神経外科 科長 溝口 昌弘

[研究の背景]

慢性硬膜下血腫は脳外科日常診療で最もありふれた疾患で、高齢者に比較的多く、認知機能障害、麻痺、頭痛などで発症する疾患です。手術で治る認知症、麻痺とも啓蒙され、実際、穿頭術（局所麻酔の手術）で 80-90%程度の方が 1 回の治療で改善します。しかしながら、近年の抗血栓療法が多様化および超高齢社会において、いまままでどおり予後が良好な疾患と言えるのかどうかはあまり検討がなされていません。

[研究の目的]

慢性硬膜下血腫患者さんの背景や、合併症およびその治療内容、予後・転帰、再発因子の動向を調査し、患者さんやご家族により詳しい情報を術前に提供できることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

成人慢性硬膜下血腫患者さんで、西暦 2000 年 1 月 1 日から西暦 2023 年 3 月 31 日の間に当院で入院加療を行った方。

●研究期間：承認日から西暦 2024 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、血液検査（凝固系検査：PT-INR）、画像検査（頭部 CT、頭部 MRI）、手術の内容、術中所見、再発の有無、内服薬、入院径路および転帰

●情報の管理

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構九州医療センター

脳神経外科 雨宮 健生

〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1

電話 092-852-0700